

第 3 回 学校運営協議会記録

	学校名	払戸小学校			
開催日時	9月29日(火) 18時00分～19時00分				
出席者	会 長：○○○○○ 副 会 長：○○ ○○ 委 員：○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○ 校 長 加藤 牧子 教 頭 松田万寿雄 教務主任 近藤 信				
協議内容	1 会長あいさつ (○○○○○ 会長) 2 校長あいさつ (加藤牧子 校長) 3 協議・情報交換 (1) CS事業の進捗状況について (これまでの主な取組について) ・別紙 (2) 学校評価 (中間) ①確かな学力の育成 (アンケートから見た児童と職員の達成率) ・児童…88.2% ・職員…74.0% ②豊かな心の育成 (アンケートから見た児童と職員の達成率) ・児童…90.0% ・職員…72.2% 4 情報交換 ・家庭学習でノートリレーの取組についてのお話を聞いて、よい取組だと思った。友達のノートを見て、よさに気付き取り入れていけると思う。 ・ノートリレーのよさだけでなくデメリットもあるということを心に留めておいてほしい。ノートを見ると、どうしても人と比較してしまう。子どもによっては、比較されるのを嫌がる場合もあるのではないか。 ・払戸小の子どもたちのあいさつは、よいという話が聞こえてきている。このことから、学校の課題の一つに挙げているが、だんだんよくなってきているのではないか。 ・あいさつは、以前よりもよくなったと自分も感じている。				

- ・先ほどの中間評価で話のあった「言葉づかい」「椅子の座り方」等が気になった。前回の授業参観でも、背筋を伸ばして座ってられない子どもも見られた。
- ・言葉づかいについては、自分たちの時代に使っていた言葉が、今では使えない言葉になっている気がする。
- ・臨時休業が開けてからの子どもたちの様子はどうか、気になるところである。コロナ禍の中での子どもの変化をしっかりと見ていってほしい。
- ・コロナ禍で子どもも大変だったと思うが、大人も子どもの世話や食事作り等でかなり大変だったようだ。
- ・子どもたちは、コロナ禍の中、なかなか遊べない状態が続いた。
- ・学校報「とちの木」を保育園でも掲示している。園児を迎えに来た保護者が目を通しての姿をよく見かける。学校報を通じて、地域の方々が少しずつ学校に関心をもってくれたらよいと思う。
- ・毎朝、校長先生と佐々木会長が子どもたちを温かく見守ってくれている。子どもたちも安心して学校に行けそうである。
- ・こども新聞の利用状況はどうか。こども新聞は、他の学校の取組も分かるので、とても参考になると思う。新聞を見ようとする態度、読む力が必要である。
- ・学校菜園では、枝豆の収穫をすることができてよかった。今年は、種蒔をした直後からの鳩被害で大変な思いをした。
- ・いじめはどの程度あるのか。近頃はいじめは、水面下で行われることがあると聞く。いじめについては細心の注意を払ってほしい。

5 諸連絡

- ・男鹿市コミュニティスクール情報交換会 12月1日（火）17：30
- ・第4回学校運営協議会 令和3年2月19日（金）18：00